

第6回 全国版 子どもの集い・交流会のアンケート結果

1. 参加状況

参加者数：27名

アンケート協力者：25名分 回収率：92.59%

年齢：10代後半…1、20代…6名、30代…8名、40代…5名、50代…5名

性別：女性…22名、男性…2名、未記入…1名

参加地域：東海…13名、関東…5名、近畿…3名、中国…2名、九州・沖縄…2名

参加回数：初回…11名、2回目…6名、3回以上…7名、不明…1名

参加形態：午前のみ…1名、午後のみ…3名、午前・午後…21名

親の診断名：統合失調症…20名、うつ病…4名、アルコール障害…1名、

解離性同一性障害…1名、薬物依存…1名、不明・未受診…2名

(重複回答あり)

2. 参加動機

- ・前回参加した際に、自分のことを素直に話れる場だと感じた。とても良い経験になったので。
- ・いろんな集いに参加して輪を広げたいと思った。
- ・子どもの立場で参加できる場で、日頃の緊張感から解放されるため。
- ・共感、共有、再会
- ・普段話せないことを話してみたいと思ったから。
- ・同じ立場の方と悩みを共有したい。他の人の対処法を聞きたい。
- ・家族でも友人でもない第3者に話したくなったから。
- ・癒しと刺激を得るため。
- ・ヤングケアラーの話を知りたかった
- ・名古屋開催なので、ぜひ出てみたいと思った。

3. 集いの満足度とその理由

- ・70～89% 3名
 - ・午後のグループが前半/後半のように変わることができれば、いろいろな話が聞けたり、つながりができたと思う
 - ・午後からの参加だったため不安だったが、交流会で話せてよかった。
- ・90～99% 8名
 - ・「ヤングケアラーへの取り組み」講演が良かったです。勉強になった。
 - ・グループディスカッションもゲームも楽しくて、いい時間を過ごすことができました。
 - ・楽しくリラックスして話させてもらい、知りたい情報もたくさん教えてもらった。
 - ・座学は久しぶりで途中で集中力が切れてしまった。興味深い話なのにもったいない気がした。5分でいいので休憩が欲しかった。
 - ・偶然だが、午後のグループが顔見知りばかりになってしまった。
- ・100%～それ以上 14名
 - ・共感してもらえたことで、とても癒された。
 - ・自分と同じような立場の人が頑張っているのが励みになる。
 - ・唯一自分の思いを話せる場で、他にはないから。
 - ・他の地域の方ともつながれて、交友関係が広がるため
 - ・同じように病気の家族と暮らしてきた人たちと同じテーマで話をするのができ、似た感情を持っていたり、違う感じ方があることを知れた。生の言葉が聞いて良かった。
 - ・皆さんの考えや森田先生の英国の話を知り、自分も視点を変えていろいろ考えることができたから。ヤングケアラーの話はとても参考になった。
 - ・先進的な英国の活動の話と、共に精神疾患の親と生きてきた仲間との語り合いと盛りだくさんの内容だったから。

4. 「英国におけるヤングケアラーへの取り組み」の講演・ディスカッション(全体会)の感想
 - ・海外の事例、日本との取り組みの違いがわかって勉強になった。
 - ・普段なかなか聞くことができない他国の取り組みを聞いてとても参考になった。
 - ・他国と比べることで、日本で何をすべきかということが明確になり、とても参考になった。
 - ・国外のヤングケアラーに興味があったので、日本の制度との違いに驚きましたが、明るい光がさしたような感じだった。
 - ・日本でヤングケアラーの認知はまだまだなので、どうすれば行政などに働きかけられるか、もっと話し合えるといいと思う。
 - ・イギリスのヤングケアラーに対する考え方が目からうろこだった。
 - ・ケアしないことも権利というケアラー法の浸透など、日本でも進んでいって欲しい。
 - ・ヤングケアラーの話を聞いて、改めて自分がヤングケアラーだったと気がついた。
 - ・ヤングケアラーの子どもたちが集うフェスティバルの映像を見ていて涙が出そうになった。日本にもこのフェスティバルを持ってきたい。
 - ・「ただの子どもでいられたのが良かった」とヤングケアラーフェスティバルで一人の子どもが話していたのが感動的だった。
 - ・ディスカッションが難しかった。
 - ・ディスカッションでの他の方の質問が気づきになって良かった。

5. 小グループの語り合いの感想
 - ・丁度良い人数だと思った
 - ・否定せず聞いていただける場で安心して話せた。
 - ・うまく話せなかったが、スタッフの「安心して話して」という言葉にリラックスして話せた。
 - ・初めての参加だったが、そんな感じがしないぐらい気軽に話せて経験も共有でき、いろいろな考えや話を聞いて、参考になり心が軽くなった。
 - ・本音を語り合うことができ、他にない経験ができた。いろいろな過去がそれぞれあり、理解ができて良かった。
 - ・同じような悩みを抱え、頑張ってきた仲間の話聞き、自分も明日から元気に頑張れるような気持ちになった。
 - ・人数が少なくなり話しやすかったが、話せなかった方とも話してみたいと思った。
 - ・顔見知りで集まってしまったので話しやすかった反面、知らない方ともっと話したかった。
 - ・前半・後半で、グループが変われると良いと思った。
 - ・統合失調症の親御さんが多かったので、私が話して大丈夫だったのかと心配になった
 - ・ゲームから始まり、小グループでのディスカッションは良い流れだと思った。人数もちょうど良かったです。

6. 今後の要望
 - ・子どものメンタルケアや自己肯定感について取り扱ってほしい。
 - ・小グループの語りは維持しつつ、日本の他地域の事例などを教えてほしい。
 - ・病気への知識を深めるプログラムがあると嬉しいです。
 - ・親の関わり方、親の病気との向き合い方を考えるもの。
 - ・精神科医やカウンセラーの講演会。
 - ・夏苺先生、糸川先生の講演。
 - ・親子の問題を研究されている方の話。
 - ・認知行動療法
 - ・全国にある子ども支援の場を知りたい。
 - ・受診しないことに関して、手立てなど詳しく知っている方から学べる機会があれば。
 - ・今、子ども時代を過ごしているケアラーの人たちと話せる機会があれば。
 - ・グループの語りがとても充実しているので、もっと時間があれば嬉しい。
 - ・キャンプ。
 - ・東京での頻繁な開催。

7. 全体を通しての意見・感想

- ・行政、病院、学校などの連携や自治体間の連携などに取り組んでもらえると嬉しいです。
- ・教員の病気への知識不足もですが、病院で働く医師、看護師の方たちも精神病の知識や理解が不足しているように感じている。知識や理解を広げていくことは、とても大切だと思う。
- ・支援する・しない、支援される・されないを当たり前と選べるような制度になってほしい。支援者にその概念を持っていただきたい。
- ・安心して話せる場として貴重な場だと思う。
- ・継続的にこうやって話せる機会があるといいと思う。来年もそれ以降もずっとこの会を続けてもらいたいです！
- ・それぞれが力を合わせて今後良い方向に行くように頑張っていきましょう。
- ・ヤングケアラーをもっと知ってもらいたいです。
- ・これから社会に出るぐらいの年齢の子どもに支援して欲しい。私たちが諦めたことを彼らにはできるだけ諦めて欲しくないです。
- ・アットホームな雰囲気に参加しやすい。どんどん広めて行って欲しいです。